



第2号（令和2年4月14日発行） 伊丹市立北中学校長 升井竜雄

【校長の方針】 「情熱・挑戦・感動」→学校改革

今回は、第1号でお知らせいたしました学校教育目標「生徒一人ひとりが主役となり、何事にも全力で取り組む学校」の具現化に向けて、私が本校に着任した時に、全教職員に確認・周知いたしました「7つ」のことについてお知らせいたします。

①「すべての生徒を幸せにするための学校」

予測不能の変化の激しい時代に生きる子供たちの将来をしっかりと見据えて、全教職員が、ワンチームとなって一人一人の生徒の将来の幸せを願って「知・徳・体」の調和ある指導をしていきたいと思いをします。

②「地域に貢献できる教職員と生徒」

北中学校とほかの市内7中学校との違いは何か？最もシンプルなのは、地域が違うということです。どの学校も、その存在意義は地域にあります。社会総がかりで子供たちをはぐくむ時代です。学校も地域に貢献できる学校であらねばなりません。

③「授業を改善する」～定性的評価と定量的評価の両輪で～

定性的評価とは、数字で表せない「表情」「姿勢」「目の輝き」などで生徒を理解することです。定量的評価とは、テストなどの「点数」で生徒を理解していくことです。子供の将来の幸せのためには、この両方ともが大切です。そのために子供たちの「心に火をともし」るとともに、客観的な分析を行い「得点力」もつけるよう授業を工夫します。

④「主体性を鍛える」

指導のないところに主体性は育ちません。子供に好きなように任せて丸投げすることは、「主体性に任せている」ことになりません。取り組み段階や準備段階などで、事前に99%関わり、本番、少しの指導で成功体験を持たせる。そして、生徒たちをしっかりと褒める場面を作ります。

⑤「不登校の削減・いじめへの未然防止と早期対応」

一人ひとりの生徒とていねいに向き合い、しっかりとつながり、生徒の目線に立って、学校へ来なくなる学級経営と授業を工夫します。

⑥「若手教員が育つ学校＝子供が育つ学校」

世間一般的に現在は中堅年齢層が少なく、組織経営的には難しい時代ですが、先輩教員が後輩教員を指導できなかったり、自分自身が成長することを怠ると、生徒も成長しません。教育のプロとしてしっかりと研修します。

⑦「業務改善・勤務時間の適正化」

知恵を絞って業務改善することは、時間を生み出し、個々の生徒と向き合う時間を生み出します。また教員が心身ともに、はつらつとすることではじめて生徒たちに対して、健全な教育ができます。兵庫県および伊丹市教育委員会の方針のもと、ノー部活デー、ノー会議デー、

定時退勤日等を設定して参りますのでご理解をお願いいたします。

最後に、「現状維持は衰退」を意味します。前例踏襲でなく、個々の教職員が北中学校の教職員であるという「誇り」「プロ意識」そして「責任感」を持って、生徒一人ひとりの長所を伸ばして参ります。ご協力のほどよろしくお願ひします。

【保護者の皆様へのお願い】

保護者や地域の皆様のご尽力により、北中学校の多くの生徒たちは学習や行事、部活動に熱心に取り組み、落ち着いた学校生活を送っています。しかし、個々には、まだ課題も多くあります。保護者の皆様には以下の点で、ご協力をお願いいたします。

1. 学校と保護者がしっかりとタッグを組みましょう。

規則正しい生活。あいさつ、返事。忘れ物をしない。など、学校と家庭が同じ方向を向いて、守るべきルール、約束は守らせましょう。

2. 家庭での学習時間をしっかりと確保し、学習習慣を身につけましょう。

学習習慣は家族の協力がなければ定着しません。「自らテレビを消す」「一緒に読書する」など、「大人の背中」を見せましょう。

3. 子供をほめる場面つくって、自己有用感を育てましょう。

大人も子どもも同じです。自分が頑張っているときに、ほめてもらえなければ、やる気が失せます。認めるべき所をみつけて、タイミング良くほめて、成功体験を積みませしょう。

【令和2年度職員構成】

校長	升井竜雄	教頭	増田健一		
事務	庄林修平	朝比奈匡子	事務補助	柳 真弓	
技能員	岩倉雅子	養護教諭	村井仁美	栄養教諭	竹内章子
特支支援員	徳原祥江	ALT	ポール・ベッサー	学校司書	竹内典子
SC	岡本 敦	SSW	池田修一		
1年		2年		3年	
主任	幸山まどか:体	主任・教務	中川裕子:社	主任	濱野洋介:社
1組	上垣 俊:社	1組	阪田彩香:国	1組	池本和弘:理
2組	福田美裕:英	2組	中垣克哉:数	2組	横山弘輝:英
3組	開田大誠:数	3組	寺澤達郎:英	3組	森本大地:数
4組	友田沙耶佳:理	4組	佐々野綾美:英	4組	浜崎友恵:音
5組	長岡友昭:数	5組	庄司早也加:数	5組	足立将也:体
6組	田川晴菜:国	6組	植松佑多加:体	6組	船引洋志:社
7組	上田誠司:体	特支	長谷川明	特支	川勝万里
特支・研究	亀山知佐	副担	北 大輔:理	特支	下岡視文
生徒指導	樋口拓央:理	副担	齊藤 稔:音	進路指導	高橋豊一:国
副担	武田烈幸:国	副担	西村梨英子:家	副担	山中真紀:国
副担	河上徳治:技	新学:非常	宮城真理:数	副担	稲岡有子:数
主幹M:非常	兼坂義昭:社			副担	萩原みのり:英
				副担	上村紘子:美

※SC:スクールカウンセラー、SSW:スクールソーシャルワーカー
新学:新学習、特支:特別支援学級、非常:非常勤、主幹M:主幹教諭マネジメント